



# 通信

電話048-480-4150

2020年1月31日発行



## 1月15日(水)新春三味線コンサート



「待ってました！」と声こそ掛かりませんでしたが、この数年恒例となつて、みんなが楽しみにしている「新春三味線コンサート」です。演奏者はグループホームの林和秀スタッフ。いつもは作務衣ズボンにセーターで飄々と週に一度の夜勤ケアを行う彼が、今日は黒紋付で、ぐっと男振りが上がっています。目を輝かせる入居者さんもいれば、「泊り当番のおにいさん」だとは気づかない方もいました。

「勸進帳」「船弁慶」「娘道成寺」と曲の説明もわかりやすく、長唄の名曲の聴かせどころをダイジェストで演奏してくれました。合間には「瀬戸の花嫁」や「芸者ワルツ」などの歌謡曲を、三味線の伴奏で合唱。そして、坂東玉三郎の舞踊で有名な「鷺娘」。悲しい恋の物語であるとの説明のあと、「妄執の雲晴れやらぬ朧夜の、恋に迷いしわが心」しづい歌声に会場のみなさんもうっとり。アンコールは「ふるさと」の大集合で幕。海老沢スタッフの「こいつは春から縁起がええわい」でめでたくおひらきと相成りました。

(グループホームえん/井上暁子)



# 2020 介護保険 20 年を振り返る

代表理事／小島美里

2020 年が明けました。デイホームえんとグループホームえんが一緒に作った絵馬は、「元気で乗り切る」、「いろいろ楽しいことやりたい」、「私は私！！私なりに」…。最も多いのが「元気で・健康」で、ありきたりでも、書かれた一人ひとりを知る者には胸に響きます。穏やかな一年であることを願っています。

さて、今年は介護保険スタートから 20 年、後退を食い止める運動が予定されています。新年早々の 1 月 14 日、このままだと「制度の持続可能性」の名のもとに高齢者の在宅生活が困難になることを知ってもらおうと、国会集会を急きょ開催しました。介護保険が始まって 20 年、上野千鶴子さんや樋口恵子さんをはじめ、介護職、介護事業者、利用する立場の人々、研究者、ジャーナリストと、多様な人々が一堂に会したのは初めてです。暮らしネット・えんも賛同団体に連なり、リレートークに参加、介護現場の現状を訴えてきました。以下は、小島の発言内容と参加したスタッフの感想です。



## 『介護保険の後退を絶対に許さない！ 1.14 院内集会』小島発言

NPO 法人 暮らしネット・えんの小島美里です。ボランティアからスタートして 30 年の活動歴がある NPO の代表ですが、介護保険が始まって以来 20 年、気の休まるいとまがない日々を送ってきました。

介護保険のスタート時は、活気がありました。「これからは介護の時代だ！」と。けれども介護報酬が出た時点で訪問ヘルパーの賃金を下げる決断をしました。それまでのままでは経営が成り立たなかったからです。このときの基本報酬がもっとも高いのですから、その後は押して知るべし。

在宅介護に暗雲が立ち込め始めたのは最初の改定から。介護予防が前面に押し出される中、在宅サービスの抑制が進行します。まず訪問介護の生活援助（最初は家事援助）が狙い撃ちされました。家族同居の場合は×、近居でもダメ、といった法律に定めがないルールがまかり通り、働きながら介護する家族から悲鳴が上がりました。その結果、一位の座を通所介護がとってかわったのですが、この時期に増えた小規模デイサービスも近年は報酬が下げられ、撤退・倒産が相次いでいます。在宅三点セットの「福祉用具貸与」も介護保険から外す動きがあって、必死の運動の末何とか食い止めました。「在宅重視」を言いながら、在宅系サービスは大事にされていません。

今、在宅介護の切り札は、小規模多機能型介護などですが、報酬や指定基準が在宅を支えられるものになっていません。基準を超えた人員配置をしても、えんの小規模多機能型では要介護 1, 2 の認知症・独居の利用者さんの服薬や食事、排せつの支援に、四苦八苦です。気のいい事業所の善意に寄り掛かるような制度設計では事業の継



続ができません。

10年前、「介護保険10年の宿題」でNHK ETV視点論点に出演しましたが、その時に提示した課題は解決されずに10年がすぎ、20年を迎えます。その最後の部分をここで読ませていただきます。

「住み慣れた我が家で、親しんできたきた地域で暮らし続けたい、最期を迎えたい。私たちは高齢期を迎えたみなさんのこのささやかな願いを、できる限りかなえられるようにと活動を続けてきました。私たち自身の老後もそうありたいからです。介護保険の理念は、この私たちの理念に重なっていました。制度が始まって20年（10年でした）経った今、最も大きな宿題は、あらためて、この多くのみなさんの願いを無理なく叶えられるように、制度を作り直すことではないでしょうか」



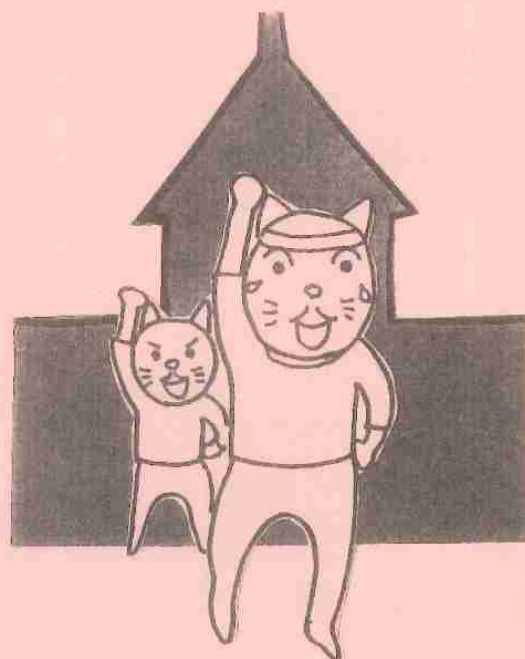
## 院内集会に参加してきました

ケアサポートえん／西本由美子

介護報酬の引き下げで訪問介護の倒産が前年の2倍、報酬削減の影響を少なくするために厳しい条件をクリアして加算を取れば、「わかってるんだろーな」とでもいうかのように、超・超・超・厳しい締め付けが待っている。その上ケアプランの有料化、要介護1、2まで介護保険サービスから外す動き等、制度改定のたびに改悪されていく。これでは安心して使うどころか、制度があっても使えない…。

このような状況に、介護保険制度が始まる前からかかわってきた方々が声をあげた今回の国会集会。初めて近くで見る国会議事堂、テレビや書籍でみたことある！ようなりレートクの方々、政治に疎い私でも名前と顔が分かる政治家の方々にドキドキしながらも、この危機的な制度に怒りをもって、皆さんが参加されているのが痛いほど伝わりました。

私だって怒っています！こんな制度では、今も、これからも、利用する人たち、その家族、私だって、私の親だって、介護保険がこんなままで良いはずはありません。この皆の怒りをもって介護保険の改悪を防ぎたいと切に感じた集会でした。そして決められた制度だからとあきらめてはいけないとも思いました。「絶対に後退させないぞ〜！」と今回のように怒りの声をあげていかなければなりません。皆様もご一緒に声をあげませんか？



# みんなのコンサート

ヤンチン

## カトヤンチン ～尺八と揚琴のときめき～

加藤秀和 (カトヤン 尺八)

足本みよ子 (揚琴)

2:00 開演 新座市立中央公民館 入場者数 170名



私は、始めてみんなのコンサートに参加しました。揚琴と尺八が、どのような演奏になるのか楽しみにしながら聴かせていただきました。

尺八の、キリッとした奥深い音色と、揚琴の癒される不思議な音色が新鮮でとても良かったです。初めて見た揚琴は、高級な家具だと思ってしまうような綺麗な形で見ているだけでも楽しめました。尺八は、日本の伝統音楽だから昔の音楽で難しいという印象を持っていました。しかし、「パプリカ」や「雪の華」など現代の曲なども演奏していて、親しみやすい楽器だということがわかりました。

演者さんは、本番直前までリハーサルをしていました。本番直前までやるのは室温で音が変わってしまうからだそうです。1時間の演奏のために、何時間も細かく調整していた演者さんの姿を見て、みんなに楽しんでもらいたいという想いがとても伝わりました。カトヤンチンの音楽を、リハーサルから本番まで聴くことができ音楽を楽しむことができました。

(ケアサポートえん・多機能ホームまどか/和知佳汰)



# 焼き芋 タイム



火おこし隊



調理隊



2019年12月8日(日)

毎年恒例の焼き芋タイムをえんの庭にて行いました。

メニューは焼き芋のほか、フランクフルト、豚汁、ローストマッシュマロ、そして賄いはカレーライス！

焼き芋を囲み、子どもたちの笑い声や大人たちの昔を懐かしむ話が飛び交い、なによりも参加されたみなさんの笑顔が最高でした。

前日からの仕込み、当日の火起こしや会場作りにはいたるまでボランティアさんたちの力を沢山お借りしました。本当にありがとうございました！！

(デイホームえん・グループホームえん/スタッフ一同)

# 2020年 初詣 特集

## ●小規模多機能型居宅介護 多機能ホームまどか



2020年最初の記念写真



まどかを代表してお  
みくじ引いたら大吉。  
こいつアは春から縁  
起がいいね!



## ●認知症対応型共同生活介護 グループホームえん



新座観音へ初詣



娘や息子が元気に暮らせます  
ように、とお祈りしました。

## ●認知症対応型通所介護 デイホームえん



今年の抱負を手作り絵馬にのせて・・・



## ～新人紹介～



まどかに入職しました増子仁美です。

利用者さんとそのご家族など、すべての方々にひとつでも多くの笑顔を見られるように一生懸命がんばります！まだまだ勉強中ですがよろしくお願ひします。

(多機能ホームまどか／増子仁美)

昨年8月より入職しました吉田史恵です。

元気がとり得で野球とゲームとスヌーピーが大好きです。沢山の経験をして、がんばっていこうと思います。

(ケアサポートえん／吉田史恵)

昨年11月1日より就労させて頂いています金(キム)と申します。韓国籍ですが韓国語は分からず、韓国ドラマは字幕が無ければトホホ(;-;)です。足立区から清瀬市に住まいが変わり、江東区から新座市に仕事先が変わり、近隣の土地を覚えている最中ですが、ウロウロと迷っているのを見かけたら、どうぞお声掛けをお願い致します。

(ケアプランえん／<sup>きむちゃんじや</sup>金貞子)

＊ 第13回 まどかコンサート特別編 ＊

『春のニッコリコンサート』朗読 日本の笑い話  
～笑う門には福来る～落語・狂言・昔ばなし…  
～日本の笑いの物語大集合～

日 時：2020年3月1日(土) 開場 14:00 開演 15:00  
場 所：多機能ホームまどか  
参加費：300円(お茶・ゼリー付) 40名様まで  
申込み：多機能ホームまどか 501



千葉玲子【朗読】

幼いころから活弁や講談といった古きよき名作の朗読講座で活動写真弁士の第一人者澤登 翠 指導による活弁士を4期受講。落語・狂言などで語るが、朗読に転向、「活弁的朗読会」を主宰。子ども向け絵本の読み聞かせ、老人施設、各種イベントで上演。

～ 職員大募集！！ ～

暮らしネット・えんで一緒に働いてみませんか？  
ヘルパー(訪問介護職員)・介護職員募集しています。  
資格がない方も資格取得のお手伝いをいたしますので、ご相談ください。

だれでも食堂<sup>しょくどう</sup> ～月1回、日曜のおひるごはんを  
みんなで作って、みんなで食べよう～

毎月最終日曜日 11:00～15:00(食事は 12:00 から)  
グループリビングえんの森にて行います。  
材料費:こども無料・おとな 300円



地域で暮らし続けていくために 2019年度新規・継続会員募集中！

正会員:1000円 賛助会員:3000円

※入会を希望される方は、事務局までご連絡ください。



■ 編集・発行 認定NPO法人暮らしネット・えん

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-1-4

電話:048-480-4150 FAX:048-201-1311

Eメール:npoenn@jcom.home.ne.jp

ホームページ:https://npoenn.com/